



八幡平市ふるさと応援感謝祭 in 東京 開催報告書

2017年11月27日(月) 東京ドームホテル

一般社団法人 ドリームプロジェクト

実施概要

<開催場所等>

日時：2017年11月27日(月) 18：30～20：30（受付開始18：00～）

場所：東京ドームホテル 地下1F 宴会場「天空」

〒112-8562東京都文京区後楽1-3-61

<目的>

- ① ふるさと応援寄付金へのご支援への感謝を伝える
 - 市長をはじめ、自治体関係者から直接言葉をお伝えする。
 - 寄附支援いただいた一般の方を招待し、感謝の気持ちをお伝えする。
- ② 八幡平市の魅力を伝え、ファンを拡大する
 - 八幡平市の素材を使った料理を通して、産品のおいしさを体感・実感いただく。
 - 画像や説明を通して、観光地等のPRを行う。
- ③ ふるさと納税PR
 - 食を中心に、工芸品などの返礼品の紹介
 - ふるさと納税を通じて八幡平市がなにをするのか・したいのかをお伝えする。

当日の感想

田村市長をはじめ、市役所の皆様の実直な感じが出ており、何のために、そしてこれから何を
していこうかというところと真摯に向き合われている姿勢が、来場された方にも強く伝わったので
はないかと思いました。八幡平市の紹介でありながら、ふるさと納税の在り方を参加者みんな
が考えるひと時となりました。

返礼品の種類は決して多くはありませんが、ひとつひとつの物に興味を持って話をされるシーン
が多く見受けられ、そこに笑顔がありました。
今後も、自信を持って地元の製品の良さを、もっともっとアピールし続け、その中に八幡平市の
人のあたたかさや人柄が出るように織り交ぜることで、ファンを拡大していけると感じました。

また「安比には何度も行っているがそこが八幡平市だとは今回初めて知った」という方も見受け
られる中で、ドラゴンアイ 八幡平の紅葉 星空などの冬のスキー以外の景観などをご覧いた
だけたことも観光面でのアピールとなりました。

主催

- 岩手県八幡平市
(田村市長・市議会 古川議長・香川課長・関係長・坂本主任)
- 一般社団法人ドリームプロジェクト

ゲスト (トークセッション)

- 株式会社トラストバンク代表取締役 須永珠代様
- NPO法人AlonAlon理事長 那部智史様

スクリーン映像協力

株式会社エスピーオー

調理・会場設営協力

東京ドームホテル



【左上】

ホワイエエリアには八幡平の景色のパネルを展示。開場待ちのお客様から「こんなにきれいな景色があるのか」「雪の回廊は八幡平にあったのか」などの声が聞かれました。

【左下】

会場内にはふるさと納税の返礼品も展示。食や工芸など、幅広い特産品を紹介しました。また、パネルによる返礼品の紹介もあり、食味会のお食事を楽しみながらご覧いただきました。

【右上】

ビュッフェ+立食形式のレイアウト。大きな会場に動きやすい配置をとり、各所でいろんな方々がお挨拶されるなど、新しいつながりを生み出していました。また、壁面には大きなターポリンにより、ホワイエエリアになかった景色の写真などもご覧いただきました。特にドラゴンアイについては話題性もあり、魅力のアピールにつながりました。



【左上】

田村市長より、開会にあたってのご挨拶。「当初はふるさと納税否定派だった」との気持ちや、陸前高田市の障がい者との取り組みを見て導入を推進した経緯などの話に、来場者の多くの方がうなずきながら聞き入っておられました。

【左下】

坂本主任による、ふるさと応援寄付金の実績や取り組みのほか、障がい者や地域の雇用についてのご紹介。市長のお話が具体化して報告されました。従来からの大幅な伸び率の変化には会場も驚いていました。

【右上】

香川課長による、ふるさと納税のご支援を呼びかけるメッセージ。飾り気なく訴える姿勢に、よりダイレクトに気持ちが伝わりました。また冒頭で紹介された当日の安比の雪の様子には、会場からも感嘆の声があがっていました。



【左上】

関係長のMCで進行したトークセッション。田村市長ほか、ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」の株式会社トラストバンク代表取締役 須永様と、障がい者支援を目的とした胡蝶蘭通販店を運営されているNPO法人AlonAlon理事長 那部様を交えて。

【左下】(NPO法人AlonAlon理事長 那部智史氏)

障がいを持たれている方への支援を、仕事や雇用を通じて行うというスタイルの一つを確立されている立場から貴重なアドバイスをいただきました。

【右上】(株式会社トラストバンク代表取締役 須永珠代氏)

「ふるさと納税はきっかけの一つに過ぎない。それをきっかけとして何をやるかがとても大事。」と話す須永社長。八幡平市としてもこれから先、どのように使っていくか、そしてどのように使っているかをどう報告していくか、気が引き締まるお話しでした。今後もその方向性がしっかりしていれば、ふるさと納税はまだまだ制度として継続・熟成していくということでした。



古川議長の乾杯により食味会がスタート。

会場内にはすでにおいしそうな香りが漂っており、八幡平牛のローストビーフの前にはスタートの案内と同時に長い列ができていました。

料理用の素材として、八幡平牛、杜仲茶ポーク、あきたこまち(天日干し)、まいたけ、マッシュルーム、いちご、ベーコン、野菜、はちみつ、漬物などを提供し、東京ドームホテルにて調理いただきました。素材を活かした様々な洋風料理をはじめ、せんべい汁やひつまみなどの郷土料理、豆腐や湯葉、スイーツ、そして地酒も並び、いろいろな味をお楽しみいただきました。また、会場のあちこちで、食べ物や日本酒に関してご来場の方から質問を受け、楽しそうに答える関係者の方々の姿がありました。

終盤には総合司会の貞平さんによる巡回インタビューもあり、和気あいあいという雰囲気の中で終了しました。





感謝祭の様：食味会

八幡平市ふるさと応援感謝祭 in 東京 (2017/11/27)



会場内やメール等でいただいた
感想・ご意見・ご要望



1. ふるさと納税を更に発展させるには八幡平市をより深く知ってもらうことが大事だと思います。市の現状や将来計画・返礼品作業の見学・観光を含めた現地ツアーは効果的でしょう。もちろん有料で構いませんし、盛岡集合でバスツアーもいいでしょう！オプションでゴルフがあればなお結構です。
2. 安比高原のヨーグルトはあるが、牛乳が欲しい。
3. 松川温泉の存在を知らなかった。冬は八幡平に行くので、今度寄ってみる。
4. スキーで冬しか八幡平に行っていなかったが、観光や滞在する場所を紹介してもらったり、返礼品でそういうツアーがあれば参加したい。
5. 八幡平市には宿泊施設、温泉があるから、行きたい人は交通費は自分で負担をするし、現地集合のツアーがあってもいい。
6. 返礼品で形にできて思い出に残る体験がしたい(漆器、陶芸等)。子どもの夏休みの宿題にできるような体験(夏・冬)があれば楽しいと思う。しかし、縦の連携ができて横の連携が取れないと難しいと思う。
7. 片口が存在を知らなかった。
8. ラピラス電機のエッセンシャルオイル、5mlでこの寄附コースだと高く感じる。
9. ふうせつ花のゆばが美味しかった。
10. いちごの大きさに驚いた。味も美味しい。これなら(9個入りと12個入り)10000円でも買う。
11. 冷蔵庫に松茸を置いていたが、とても強い香りで、幸せな気分になった。
12. こういう機会を設けて頂き、返礼品を見て食べて触れて、とても幸せな時間を過ごしました。
13. 紅葉の時期、雪の回廊の時期に八幡平に行く。
14. 八幡平市を知らなくて、返礼品(松茸)で八幡平市に寄附をした。ラピラスのエッセンシャルオイルや染物があるのに驚いた。ブランド牛があるのにも驚いた。
15. 箱を開けて、カタログが入っているのに立派で驚いた。
16. パンフレットがもったいない。毎回送ってくれなくてもいい。
17. わしの尾でせん、しぼりたて原酒、陸羽のうち、どれがいいか聞いたところ、陸羽が人気だった。



八幡平市役所をはじめ
たくさんの方々のご協力により実現した東京での実施。
今後も地道な活動を重ねることで
より認知度を高め、交流人口を増やす活動を行います。
ありがとうございました。

申込人数115人

参加人数：99名

※八幡平市・関係スタッフ15人を含む

※うち一般寄附者の方々：31名